

第11回

九州新聞社 ピアノコンクール 参加者募集

主催：九州新聞社ピアノコンクール実行委員会

後援：福岡県／福岡市教育委員会／大分県／大分市教育委員会
佐賀県／佐賀市教育委員会／長崎県／長崎市教育委員会

九州新聞社ピアノコンクールは、九州の音楽文化向上に貢献したいとの思いで11年目の開催を迎えます。出場される方の励みになるよう、本選の入賞者全員の氏名、指導者名を**佐賀新聞**、**西日本新聞**に掲載。さらには豪華トロフィーをご用意いたします。

一 次 予 選		二 次 予 選		本 選
福岡・大分	令和5年 8月19日(土)20日(日) 会場 / 福岡女学院 ギール記念講堂	福岡・大分	令和5年 12月2日(土)3日(日) 会場 / 福岡女学院 ギール記念講堂	令和6年 2月24日(土) 25日(日) 会場 / 福岡女学院 ギール記念講堂
	佐賀・長崎 8月26日(土)27日(日) 会場 / エスプラッツホール		佐賀・長崎 12月9日(土)10日(日) 会場 / エスプラッツホール	
各予選は、居住地域にとらわれず、 ご都合の良い日程、場所で受験していただく事が出来ます。				課題曲部門：1日目 自由曲・デュオ部門：2日目

本選ゲスト審査員には日本を代表するピアニスト 横山幸雄氏!!

人気と実力を兼ね備えた日本を代表するピアニスト。第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、本格的な演奏活動を始めた。それ以来数々の賞を受賞し、クラシック界のトップアーティストとして常に注目を集めている。2010年ショパン生誕200年を記念して行われた14時間に及ぶショパンピアノ独奏曲全曲演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には遺作を含む全独奏曲演奏会で自らのギネス記録を更新。2019年の第10回記念公演では、ショパンが生涯で作曲した240曲の全ての作品（独奏曲、協奏曲、声楽曲、室内楽曲）を3日間で演奏するという前人未踏のプロジェクトを大成功させ、その記録をDVDとしてリリース。また、2013年よりスタートした横山幸雄のもうひとつのライフワークともいえるシリーズ「ベートーヴェン・プラス」や、「4大ピアノ協奏曲」演奏会などに加え、ベートーヴェン生誕250周年にあたる2020年には「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全32曲連続演奏会」を行ない、2日間でソナタ全曲を演奏する偉業を成し遂げ、その模様が全て収録されたDVDを発表。

各地の一流オーケストラやアーティストとの共演で絶大な信頼と評価を得ると共に、10年にわたる東京FMの番組でのパーソナリティや、数十枚に及ぶCD制作などにおいても高い評価を得ている。

最新CDは昨年サントリーホールでのデビュー30周年記念公演のライブ録音「横山幸雄 ショパンピアノ協奏曲第1番&第2番他」(ソニー・ミュージック・レーベルズ)。積極的な演奏活動以外に教育者としても数々の実績を残している。また、東京と京都にレストランをオープンし、音楽と旬の食をテーマに新しい音楽の楽しみ方を提供。近年では自ら主宰するピアンカーラサロンでの様々な企画や、ライブ配信「マイハートピアノライブ」を毎月行なうなど、音楽プロデューサーとしても活躍。数々の音楽大学で客員教授として教鞭を取り、また故中村紘子女士の遺志を引き継ぎ日本パデレフスキ協会会長を務めている。



©Hiro Ferrari

オフィシャル・サイト
<http://yokoyamayukio.net/>



コンクールの流れ

- ◆ 一次予選の入賞者は二次予選に、二次予選の入賞者は本選にそれぞれ出場できます。
- ◆ 各予選・本選ではグランプリ、準グランプリ、最優秀賞、優秀賞を各コースから出します。
- ◆ 本選のゲスト審査員はピアニストの横山幸雄氏、それ以外の審査員は非公表です。
- ◆ 横山幸雄氏の審査は2月25日(日)の自由曲部門・デュオ部門のみです。

本選日時：2024年2月24日(土)・25日(日)

会 場：福岡女学院ギール記念講堂（福岡県福岡市南区日佐）

2歳から
一般まで
出場可能!

〈申込書受付期間〉 5月15日(月)～6月30日(金)

九州新聞社ピアノコンクール実行委員会 事務局（佐賀新聞文化センター内）

〒840-0826 佐賀市白山2丁目7-1 エスプラッツ3F

TEL

0952-25-2160



info@saga-sbc.jp

<https://www.saga-sbc.jp>

佐賀新聞文化センター

検索